

慣用句の基本をマスター！
読み・書き・意味 ⑥

名前

26 問

問題 一

(一) 次の慣用句の — 部分の読みがなを () に
ひらがなで書きましょう。

- | | |
|-----------|------------|
| ① いちべつ | ⑥ そり |
| ② きゆう | ⑦ さじかげん |
| ③ さみだれしき | ⑧ あだ |
| ④ むか | ⑨ うごのたけのこ |
| ⑤ みちくさ | ⑩ やりだま |
| ⑥ 道草を食う | ⑪ 槍玉に挙げる |
| ⑦ 糠喜び | ⑫ 雨後の筍のごとく |
| ⑧ 五月雨式 | ⑬ 恩を仇で返す |
| ⑨ 杞憂に終わる | ⑭ 匙加減ひとつ |
| ⑩ 一瞥もくれない | ⑮ 反りが合わない |

- (二) 次の慣用句のカタカナ部分を () に漢字で書きましょう。
- | | |
|------------|-----------|
| ① イッシを報いる | 答え () 一矢 |
| ② オメイを返上する | 答え () 汚名 |
| ③ モンコを開く | 答え () 門戸 |
| ④ 烏のギョウズイ | 答え () 行水 |
| ⑤ カブが上がる | 答え () 株 |
- その人の評価や評判がよくなること。

問題 三

次【一】の慣用句を使って、短い文を作りましょう。

【雲泥の差】二つのものに非常に大きな違いがあること。

(例) 二人の実力には雲泥の差がある。

問題 二

(一) 次の慣用句の意味として正しいものを、ア～ウから選び、○をつけましょう。

知らない言葉は調べてみよう！



- | | |
|---|-------------------------------|
| ① 絵空事を並べる | ア 現実離れた話ばかりすること。 |
| ② 月とすっぽん | イ 夜空の月と、池のスッポンを観察すること。 |
| ③ 梨のつぶて | ウ 二つのものがひどく違っていて、比べものにならないこと。 |
| ④ 焼け石に水 | ア 梨の種を遠くまで飛ばす遊びのこと。 |
| ⑤ 鯖を読む | ウ 手紙や連絡を送っても、全く返事がないこと。 |
| ⑥ 焼いた石を水で冷やすこと。 | イ 熱い石でお湯を沸かすこと。 |
| ⑦ わずかな援助や努力では、効果がほとんどないこと。 | ウ 手紙や連絡を送っても、全く返事がないこと。 |
| ⑧ 魚の数を数えること。 | イ 本の内容を大声で読むこと。 |
| ⑨ 自分の年齢などを実際と違うように言うこと。 | ウ 自分の年齢などを実際と違うように言うこと。 |
| (二) 次の意味に合う慣用句を、ア～ウから選び、○をつけましょう。 | |
| ① 相手の弱みや困っている状況につけこんで、自分に有利なようにふるまうこと。 | ア 足元を見る |
| ② 戦いや競争、議論などが開始されること。 | イ 手をこまねく |
| ③ アヘそを曲げる | イ 袋叩きにあう |
| ④ 長年の経験などによって考え方や信念などが非常に強固で、簡単には変わらないこと。 | ウ 火蓋を切る |
| ⑤ 物事の最も困難な時期や危機的な状況を乗り越えること。 | ア 付け焼き刃 |
| ⑥ 自分自身は安全な場所について、他人の争いや揉め事などを傍観すること。 | イ 筋金入り |
| ⑦ 足元を見る | ウ 型にはまる |
| ⑧ 火の粉を払う | イ 高みの見物 |
| ⑨ 高みの見物 | ウ 頂点を極める |
| ⑩ 峠を越す | イ 山場を迎える |
| ⑪ 山場を迎える | ウ 頂点を極める |